

福井ウメ施肥・除草体系例

<施肥設計>

- ① 収穫後に施用する**札肥、花芽肥**を遅れずに散布し、8月下旬から9月にかけての**栄養状態を良好**にして花芽分化を促進する。
- ② 長期間石灰類を施用していない園地は、**セルカ、苦土石灰等**により、**土壌pHの矯正**および**ウメに必要なカルシウム分の補給**を行う。

資材区分	施用時期	資材名	(N:P:K)	施用量 (10㎡当たり)	年間成分量(10㎡当たり)						注意事項
					窒素 (N)	リン酸 (P)		加里 (K)	微量 要素		
						化学性	有機態				
施肥	芽出し肥(3月下旬)	エコレット266 (または梅の力)	(12:6:6)	40	4.8	4.2	0.6	2.4	2.4	—	
	実肥(5月上旬)	S 2 2 6	(12:12:16)	20	2.4	2.4	0.0	2.4	3.2	—	
	札肥(6月下旬～7月上旬)	エコレット266	(12:6:6)	60	7.2	6.4	0.8	3.6	3.6	—	
		S 2 2 6	(12:12:16)	12	1.4	1.4	0.0	1.4	1.9	—	
	花芽肥(9月上旬)	エコレット266	(12:6:6)	50	6.0	5.3	0.7	3.0	3.0	—	
	有機物の施用	牛ふんたい肥	—	2.0t	—	—	—	—	—	—	
	石灰類(3月、9月)	苦土石灰	アルカリ分 55%	150～200	—	—	—	—	—	—	—
有機石灰(セルカ)		アルカリ分 46%	—		—	—	—	—	—	—	
合計					21.8	19.7	2.1	12.8	14.1		

(1)基本設計

(単位: kg(樹齢21年以上の成木での設計))

資材区分	施用時期	資材名	(N:P:K)	施用量 (10㎡当たり)	年間成分量(10㎡当たり)						注意事項
					窒素 (N)	リン酸 (P)		加里 (K)	微量 要素		
						化学性	有機態				
施肥	芽出し肥(3月下旬)	エコレット266 (または梅の力)	(12:6:6)	40	4.8	4.2	0.6	2.4	2.4	—	
	実肥(5月上旬)	S 2 2 6	(12:12:16)	20	2.4	2.4	0.0	2.4	3.2	—	
	札肥(6月下旬～7月上旬)	エコレット266	(12:6:6)	60	7.2	6.4	0.8	3.6	3.6	—	
		S 2 2 6	(12:12:16)	12	1.4	1.4	0.0	1.4	1.9	—	
	花芽肥(9月上旬)	エコレット266	(12:6:6)	50	6.0	5.3	0.7	3.0	3.0	—	
	有機物の施用	牛ふんたい肥	—	2.0t	—	—	—	—	—	—	
	石灰類(3月、9月)	苦土石灰	アルカリ分 55%	150～200	—	—	—	—	—	—	—
有機石灰(セルカ)		アルカリ分 46%	—		—	—	—	—	—	—	
合計					21.8	19.7	2.1	12.8	14.1		

(2)グリーンな施肥体系

(単位: kg(樹齢21年以上の成木での設計))

資材区分	施用時期	資材名	(N:P:K)	施用量 (10㎡当たり)	年間成分量(10㎡当たり)						注意事項
					窒素 (N)	リン酸 (P)		加里 (K)	微量 要素		
						化学性	有機態				
施肥	芽出し肥(3月下旬)	エコレット266	(12:6:6)	40	4.8	4.2	0.6	2.0	2.0	—	
	実肥(5月上旬)	S 2 2 6	(12:12:16)	20	2.4	2.4	0.0	2.4	3.2	—	
	札肥(6月下旬～7月上旬)	エコレット266	(12:6:6)	60	7.2	6.4	0.8	3.6	3.6	—	
		S 2 2 6	(12:12:16)	12	1.4	1.4	0.0	1.4	1.9	—	
	花芽肥(9月上旬)	エコレット266	(12:6:6)	40	4.8	4.2	0.6	2.4	2.4	—	
	有機物の施用	高機能バイオ炭	—	2,000L	—	—	—	—	—	—	樹を中心に同心円状に施用する。 バイオ炭は軽いため、牛ふんたい肥をバイオ炭の上に施用する。
	石灰類(3月、9月)	苦土石灰	アルカリ分 55%	150～200	—	—	—	—	—	—	—
有機石灰(セルカ)		アルカリ分 46%	—		—	—	—	—	—	—	
合計					15.8	14.4	1.4	9.4	10.7		

<除草設計>

◇年間5回前後の機械除草に加えて、除草剤による補完が基本です。

カウ	薬剤名	対象雑草	使用量(10㎡当たり)		使用時期	収穫前 日数	散布 期限	総使用可能 回数	
			薬量	希釈水量					
2	ブリグロックスL 【注:毒物】 (シクワッド7.0%, バイコート5.0%)	一年生雑草	800～ 1,000ml	100～150L	雑草生育期	前日	5/28 (収穫 2日前)	5回 以内	
		多年生雑草	1,500～ 2,000ml						
		スギナ	1,000～ 2,000ml						
1	バスタ液剤 (グリホサート18.5%)	一年生雑草	300～ 500ml	100～150L	雑草生育期 (草丈30cm以下)	前日	5/28 (収穫 2日前)	これら 2剤の 共通で 3回 以内	
		多年生雑草	500～ 1,000ml						
1	ザクサ液剤 (グリホサートPPナトリウム塩11.5%)	一年生雑草	300～ 500ml	100～150L	雑草生育期 (草丈30cm以下)	前日	5/28 (収穫 2日前)	これら 2剤の 共通で 3回 以内	
		多年生雑草	500～ 1,000ml						
2	サンダーボルト 007 (グリホサートイソプロピルアミン塩30.0%, ビラフル フェンメチル6.0, 1.6%)	一年生および 多年生雑草	400～ 1,000ml	100L	雑草生育期 (草丈30cm以下)	7日	5/22		
1	ラウンドアップ マックスロード (グリホサートナトリウム塩48.0%)	一年生雑草	200～ 500ml	通常散布は 50～100L 少量散布は 25～50L	雑草生育期	7日	5/22	これら 3剤の 共通で 3回 以内	
		多年生雑草	500～ 1,000ml						
		スギナ	1,500～ 2,000ml						

ロボット草刈機で除草作業の省力化

ロボット除草機は、設定した時間に自動で圃場の除草作業を行います。株周りまで除草することから、株元の除草も必要がありません。そのため、機械除草の他、除草剤の削減にもつながります。

月に一回程度点検や電源が必要になりますが、年間除草時間は削減されます。

60分/10a/年 → 140分/10a/年

